

令和元年度実施 男女共同参画推進事業について【報告】

【男女共同参画推進のための啓発行事】

①「男女共同参画セミナー2019」

テーマ：「家庭と仕事と私」

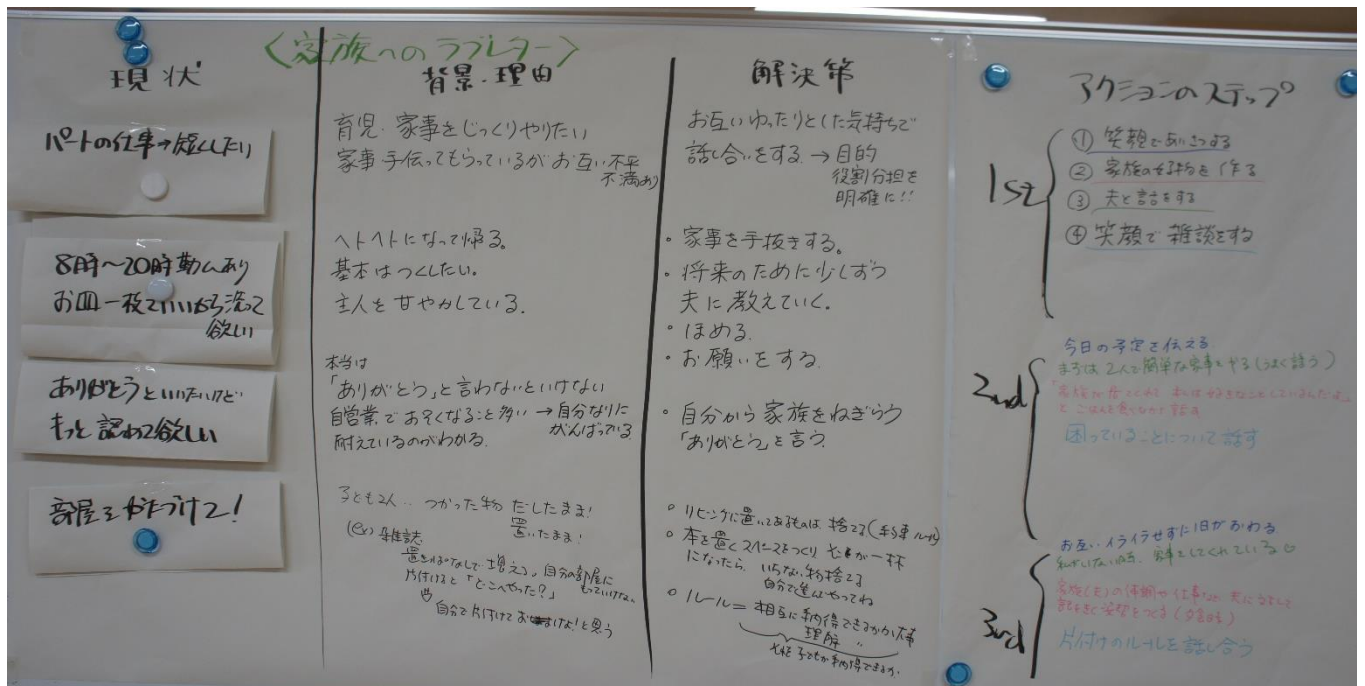
講師：吉崎 利生氏

- ・日 時：令和元年 9月 8日（日）午後 1時 15分から午後 4時まで
- ・会 場：両津支所 3階
- ・参加者：20名

2人1組での少人数での活動から、円形になり全員の顔を見合わせながらの活動、3~5名程度で行われた課題別のグループワークに取り組み、参加者たちは同じ悩みを共有し、共感を得るだけではなく、同じ悩み同士での解決策を模索することを通して、自分なりの答えや、生活のヒントを見つけていた。

事後アンケートから、今回のセミナーの参加きっかけを分析すると、友人・知人からの誘いが最も多く、次いで多かったのはチラシであった。

しかし、チラシについては女性のみ対象と印象を受け、参加を断念していたという声もあったため、次のチラシの文言・デザイン等を作成する際の反省点としたい。



②イベント【キラ★キラふえすた】での男女共同参画普及ブースの出展（地域振興課連携事業）
目的：子育てをしながら職業生活が安心して継続でき、自己実現が図られる環境づくりを目指すため、市民のワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の意識醸成を図る。

- ・日 時：令和元年9月29日（日） 午前10時から午後3時まで
- ・会 場：椿屋陶芸館（佐渡市貝塚 1111-1）
- ・来場者（見込み）：300名程度
- ・内 容：意識啓発クイズの配布とアンケート調査の実施

何のブースなのかわからないため、気になって足を止める人が多いように感じた。次年度も開催する場合には、県や国の男女共同参画ののぼり等を用意できると一目でどのようなことを普及しているのか伝達できるよう工夫をする。

来客層としては、若い世代が多く、また家族、友人同士等集団で来る人も多かった。女性や子どもが多く来場していたため、アンケートを回答する場合も、1人ではなく、一緒にきた人を巻き込んで回答をする姿がよく見られた。

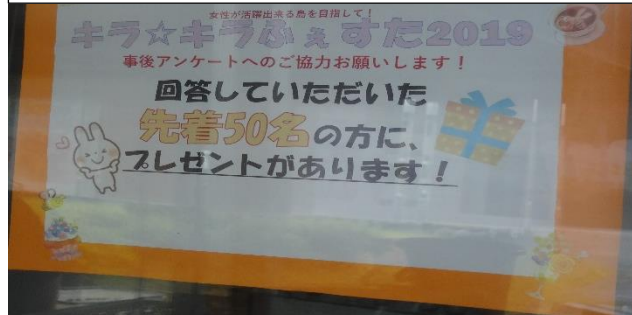
クイズについては、大人よりも子どものほうが興味を示していたが、今回のクイズの内容は、大人向けのものであり、子どもには表現等難しいものであった。保護者はアンケート、子どもはクイズと対象を見直すことが必要である。

アンケートの回答者の傾向としても、30代～50代の働く女性が多く来場することが見て取れたため、今回の出展の反省を十分にし、次年度の男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの普及啓発事業への活用方法を検討する。

メイン会場の様子



会場でのチラシ



出展ブース



机上の配置



【男女共同参画推進計画の策定に係る業務】

①市民意識調査の実施

1 調査目的

市民の男女共同参画に関する意識を把握し、令和2年度からの第3次佐渡市男女共同参画計画のための参考資料とするとともに、男女共同参画社会の実現に向け、市の施策を一層充実させるためにも活用する。

2 調査設計と回収状況

- (1) 調査対象 佐渡市に在住する満20歳から69歳までの男女
- (2) 発送数 計3,000通
- (3) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- (5) 調査期間 令和元年7月25日～8月30日
- (6) 回答数（回答率） 1,123通（37.4%）

3 結果の公表について

第3次計画内に資料として包含しているほか、アンケート結果のみのデータを市ホームページにて公開。

②第3次男女共同参画計画策定

1 業務概要

平成27年度に策定された「第2次男女共同参画計画」が、令和元年度において計画期間が終了するため、引き続き、男女共同参画を推進にあたり令和6年度までの計画を策定したものの。

2 今後のスケジュール

策定後は、第3次に移行した旨、新計画の概要について、広報誌、市ホームページにおいて広く周知を行うほか、各種関連イベントにおいても概要版を配布するなど周知に努める。

また、4月以降、令和元年度の実績を集約し、本懇談会から評価をして頂き、PDCAサイクルを意識し、次年度以降の事業について検討を行う仕組みを構築する。